

GIGAスクール教科等研究集会

【中学校国語部会】

「徳島版読解力」について

1

令和6年度からは、

すべての教科等にわたる
「徳島版読解力」を活かした
学力向上のポイント

に取り組めます。

すべての教科等にわたる「徳島版読解力」を生かした学力向上のポイント

「徳島版読解力」の育成をめざして

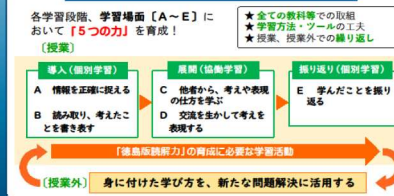
多様で複雑な現代の社会を生き抜く児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選び取った情報を解釈したり活用したりする力が重要であると考えられる。このようなこれからの社会を生きるために必要となる力を徳島版読解力と定義し、すべての教科等においてその育成を図る。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

- 1 正確に読む力
多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力
- 2 必要な情報を取り出す力
読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力
- 3 比較・関連付けて理解する力
取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の真偽を捉える力
- 4 見通す力
取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力
- 5 発信する力
取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力



「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ



徳島県教育委員会

2

令和5年度 全国学力・学習状況調査 問題別集計結果

徳島	全国	比較
68	69.8	-1.8

番号	徳島	全国	比較	無解答率(徳島)
1一	86.0	87.5	-1.5	0.1
1二	67.3	65.1	+2.2	0.1
1三	77.5	76.6	+0.9	0.3
1四	78.8	82.5	-3.7	15.2
2一	90.1	91.1	-1.0	0.2
2二	61.9	63.0	-1.1	0.6
2三	72.0	74.2	-2.2	0.5
2四	63.9	67.5	-3.6	5.9
3一	52.0	54.3	-2.3	1.3
3二	43.1	43.9	-0.8	11.5
3三	56.8	61.8	-5.0	3.4
3四	66.5	72.1	-5.6	14.5
4一	89.0	82.5	+6.5	3.9
4二	72.4	74.1	-1.7	5.8
4三	43.3	50.0	-6.7	27.2

3

令和4年度 全国学力・学習状況調査 問題別集計結果

徳島	全国	比較
71	69.0	+2.0

番号	徳島	全国	比較	無解答率
1一	74.6	74.7	-0.1	4.0
1二	65.0	65.1	-0.1	0.1
1三	50.0	51.8	-1.8	18.3
2一	82.6	82.3	+0.3	0.2
2二①	83.9	82.1	+1.8	7.2
2二②	82.4	80.5	+1.9	2.0
2三	51.0	46.5	+4.5	10.4
3一	56.7	52.5	+4.2	0.7
3二	85.5	84.0	+1.5	0.3
3三	61.5	62.0	-0.5	1.0
3四	71.8	73.8	-2.0	14.3
4一	50.0	39.4	+10.6	0.9
4二	91.7	90.1	+1.6	1.0
4三	82.8	81.1	+1.7	1.1

4

昨年度の課題等〔知識及び技能〕

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 [] 内の記号は、問題番号

情報の扱い方に関する事項

- ◆ 情報と情報との関係について理解することに課題がある。

〔1二〕【徳島…67.3%】 〔3三〕【徳島…56.8%】

我が国の言語文化に関する事項

- ◇ 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことはできている。〔4一〕【徳島…89.0%】 ・「いひける」→「いいける」

※全国比+6.5%

5

昨年度の課題等〔思考力・判断力・表現力等〕

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 [] 内の記号は、問題番号

書くこと

- ◇◆ 読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることについては、改善の状況が見られるが、引き続き課題がある。〔3一〕【徳島…52.0%】

- ◇ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことについては、改善の状況が見られる。〔3四〕【徳島…66.5%】
※しかし、これに関しては、全国比-5.6%と課題がある。

6

昨年度の課題等〔思考力・判断力・表現力等〕

◇…比較的できている点 ◆…課題のある点 [] 内の記号は、問題番号

読むこと

- ◆ 文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付けて、自分の考えを広げたり深めたりすることに課題がある。

〔2四〕【徳島…63.9%】

- ◆ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある。〔4三〕【徳島…43.3%】

※今回の問題で、最も全国比のマイナスが大きい(-6.7%)

7

2 説明的な文章を読む（本の読み方）

学習指導に当たって

文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付けて、自分の考えを広げたり深めたりすることに課題がある。



- ・ 文章を読んで自分の考えを広げたり深めたりするためには、自分も持っている知識や経験と結び付けることで、理解したことや考えたことを一層具体的で明確なものにしていくことが重要。
- ・ そのためには、生徒が主体的に文章を読むことができるように指導することが大切。

（報告書p.41）

8

3 レポートを書く（「判じ絵」）

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く

- ◎ 自分の考えが伝わる文章にするために
具体例を示す際の留意点
- ① 伝えたい自分の考えを明らかにする
・題材について考えたことを書き出してみよう。
・考えたことの中から伝えたいことを精選する。
 - ② 考えを支える根拠となる具体例を選ぶ
・考えとのつながりが明確な具体例を選ぶ。
・示す具体例の数や順番を検討する。
 - ③ 文章の中に自分の考えと根拠を書く
・自分の考えと、考えを支える具体例を書く。
・示した具体例から、なぜその考えが導き出せるのかが分かるように説明を書く。

（報告書P.60）

☆「思考ツール」を使うことも考えられます
【イメージマップ・フィッシュボーン・キャンディチャート等…】

・示された文章等から情報を読み取る力



・自分の考えを形成するために大量の情報を取捨選択したり、視覚的に情報を読み取ったりすることで

→情報を活用したり、解釈したりする力

10

読解力の定義

【読解力の定義】

自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、社会に参加するために、テキストを理解し、利用し、評価し、熟考し、これに取り組むこと。

※下線部は2018年調査からの定義変更箇所

- コンピュータ使用型に移行し、デジタルテキストを踏まえた設計となったため、「書かれたテキスト」から「テキスト」に変更。（デジタルテキスト：オンライン上の多様な形式を用いたテキスト（Webサイト、投稿文、電子メールなど））
- 議論の信ぴょう性や著者の視点を検討する能力を把握するため、テキストを「評価する」という用語を追加。

測定する能力

①情報を探し出す

- ーテキスト中の情報にアクセスし、取り出す
- ー関連するテキストを探索し、選び出す

②理解する

- ー字句の意味を理解する
- ー統合し、推論を創出する

③評価し、熟考する

- ー質と信ぴょう性を評価する
- ー内容と形式について熟考する
- ー矛盾を見つけて対処する

（下線部は、2018年調査から新たに定義に追加された要素）

読解力の調査結果の分析

- 読解力の平均得点の低下に影響を与える要因について分析したところ、生徒側（関心・意欲、自由記述の解答状況、課題文の内容に関する既存知識・経験、コンピュータ画面上での長文読解の慣れ等）、問題側（構成、テーマ、テキストの種類、翻訳の影響等）に関する事項などの様々な要因が複合的に影響している可能性があると考えられる。
- 読解力を測定する3つの能力について、それらの平均得点が比較可能な2000年、2009年及び2018年（読解力が中心分野の回）の調査結果を踏まえると、
 - ・「②理解する」能力については、その平均得点が安定的に高い。
 - ・「①情報を探し出す」能力については、2009年調査結果と比較すると、その平均得点が低下。特に、習熟度レベル5以上の高得点層の割合がOECD平均と同程度まで少なくなっている。
 - ・「③評価し、熟考する」能力については、2009年調査結果と比較すると、平均得点が低下。特に、2018年調査から、「質と信ぴょう性を評価する」「矛盾を見つけて対処する」が定義に追加され、これらに関する問題の正答率が低かった。
- また、各問題の解答状況を分析したところ、自由記述形式の問題において、自分の考えを根拠を示して説明することに、引き続き課題がある。誤答には、自分の考えを他者に伝わるように記述できず、問題文からの語句の引用のみで説明が不十分な解答となるなどの傾向が見られる。

「徳島版読解力」は、

「国語力タスク
フォースの提案」を
ブラッシュアップ
したもの

すべての教科等にわたる「徳島版読解力」を生かした学力向上のポイント

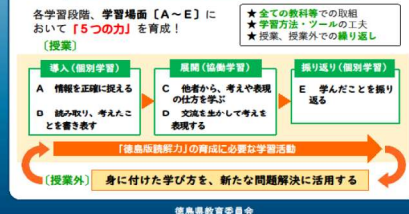
「徳島版読解力」の育成をめざして

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力
多様な現代の社会を生き抜く児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選り取った情報を解釈したり活用したりする力が必要であると考えられる。このようなこれからの社会を生き抜くために必要となる力を徳島版読解力と定義し、すべての教科等においてその育成を図る。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

- 1 正確に読む力
多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力
- 2 必要な情報を取り出す力
読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力
- 3 比較・関連付けて理解する力
取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共通的、批判的な視点で情報の価値を捉える力
- 4 読解する力
取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力
- 5 発信する力
取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力

「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ



12

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

1 正確に読む力

多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等をせずに情報を読み取る力

2 必要な情報を取り出す力

読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力

3 比較・関連付けて理解する力

取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を捉える力

4 見直す力

取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力

5 発信する力

取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力



13

中学校学習指導要領 総則編

(1) 学習の基盤となる資質・能力 (第1章第2の2の(1))

(1) 各学校においては、生徒の発達の段階を考慮し、**言語能力**、**情報活用能力**(情報モラルを含む。)、**問題発見・解決能力**等の学習の基盤となる資質・能力を育成していくことができるよう、各教科等の特質を生かし、教科等横断的な視点から教育課程の編成を図るものとする。

本項は、生徒の日々の学習や生涯にわたる学びの基盤となる資質・能力を、生徒の発達の段階を考慮し、それぞれの教科等の役割を明確にしながら、教科等横断的な視点で育んでいくことができるよう、教育課程の編成を図ることを示している。学習の基盤となる資質・能力として、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を挙げている。

14

「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ

各学習段階、学習場面【A～E】において「5つの力」を育成！

〔授業〕

★ 全ての教科等での取組
★ 学習方法・ツールの工夫
★ 授業、授業外での繰り返し

導入(個別学習)

A 情報を正確に捉える
B 読み取り、考えたことを書き表す

展開(協働学習)

C 他者から、考えや表現の仕方を学ぶ
D 交流を生かして考えを表現する

振り返り(個別学習)

E 学んだことを振り返る

「徳島版読解力」の育成に必要な学習活動

〔授業外〕

身に付けた学び方を、新たな問題解決に活用する

5つの力、A～Eの活動の土台となるのが、「主体的に学習に取り組む態度」である。

15

導入(個別学習)	A 情報を正確に捉える	○文章などを繰り返し読む。 ○意味の分からない語句や表現を取り出し、調べる。 ○心に残る表現や大事なところを覚える。 ○全体をいくつかの部分(問題、例、データ、まとめなど)に分けたり、事実と意見を区別したりする。 ○語句と語句、情報相互の関係を捉えて、整理する。 ○言語情報と、図・表・グラフ・写真などの関係を読み取る。 ○問題の解決につながる部分を捉える。	1-4 1 2 3-4 1-2 3	【音読、黙読、精読、略読】 【傍線や下線を引く】 【丸や四角で囲む】 【線でつなぐ】 【図、表、思考ツール】 【辞典、事例】	【インターネット】
		○思い込みに基づいて内容を捉える。 ○必要な情報にだけ目をつけて読み、書き留める。 ○書き留めたことを確認し、付け足したり、削ったりして、推敲する。	1-2 3-5 4-5	【メモ】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】 【図、表、思考ツール】	
		○情報を正確に読み取り、根拠を明確にして考えを伝え合ったりする。 ○他者の伝えたいことや考えがはっきりするように、質問や応答をする。 ○他者の考えを聞き、自分の考えや表現の仕方との共通点、相違点を捉える。 ○他者と協力して問題を解決する。	1 2 3 4 5	【相互評価、コメント】 【話し合い、討論(ペア・グループ・クラス、スピーチ)】 【ボスターセッション】 【質疑、応答】 【図、表、思考ツール】	
		○交流を生かして考えを表現する。 ○新しい気づきや考えに気づき、自分の考えを伝えたり、必要に応じて修正したりして、自分なりに考えをまとめる。 ○情報の信頼性を判断し、信や疑を付けて活用する。	1-2 4-5 2-3	【メモ】 【付箋】 【シート、ワークシート】 【ホワイトボード】 【図、表、思考ツール】	
		○多様な考えや情報を比較したり、関連付けたりして、自分の考えを整理し、表現する。 ○学習活動の振り返りだけでなく、学んだことや考えたことと記憶に残す。 ○前にもった疑問や、次に活かすための課題を整理する。 ○他者の振り返りを共有し、自分の学習に生かす。	3-4 5 2-4 3-5 4-5	【線でつなぐ】 【図、表、思考ツール】 【付箋】 【ノート、ワークシート】 【ホワイトボード】	
		○興味・関心のあることや、予習・復習で生じた疑問に際する情報を集める。 ○読書や会話を通して、生活の中で出会う様々な問題に関心をもち、読解力を高める。 ○集めた情報を整理し、必要に応じて活用する。	1-3 4 1 2-3	【書籍】 【図像や文庫などの他者】 【書籍】 【会話】 【自主学習ノート】	
		○学習したツール等を使って、多様なメディアに接続し、調べたり、読み取り、整理したりする。	2-5	【書籍】 【インターネット】	

16

学 習 場 面		学 習 活 動	読解力	学習方法・学習ツール例	ICTの利活用例
導入 (個別学習)	A 情報を正確に捉える	○文章などを繰り返し読む。	1-4	【音読、黙読、視察、聴取】	
		○意味の分からない語句や表現を取り出し、調べ。	1	【辞書、辞典、辞書アプリ】	
		○心に残る表現や大事なところを探す。	1	【傍線や下線を引く】	
		○全体をいくつかの部分(問題、例、データ、まとめなど)に分けたり、事実と意見を区別したりする。	2	【丸や四角で囲む】	【インターネット】
		○語句と語句、情報相互の関係を見付けて、整理する。	3-4	【図、表、思考ツール】	
	B 読み取り、考えたことを書き表す	○書籍情報と、図・表・グラフ・写真などの関係を読み取る。	1-2	【辞典、事典】	
		○問題の解決につながる部分を見付ける。	2		
		○思いついたことを書き留める。	1-2	【メモ】	
		○書き留めたり見出しを付けたりして、書き留めたことを分かりやすく整理する。	3-5	【付箋】	【メモ・付箋機能】
		○書き留めたことを見直し、付け足したり、削ったりして、推敲する。	4-5	【ノート、ワークシート】	【画像や動画のキャプション】
展開 (協働学習)	C 他者から、考えや表現の仕方学ぶ	○情報を出し合ったり、根拠を明確にして考えを伝え合ったりする。	1	【相互評語、コメント】	
		○他者の伝えたいことや考えがはっきりするように、質問や応答をする。	2	【話し合い、討論(ペア・グループ・クラス)、スピーチ】	【チャット】
		○他者の考えを聞き、自分の考えや表現の仕方との共通点、相違点を見付ける。	3		【学習支援クラウドアプリ】
		○他者と協力して問題を解決する。	4	【ポスターセッション】	
		○交流の中で心に残った他者の言葉や表現の仕方の工夫を書き留める。	5	【図、表、思考ツール】	
	D 交流を生かして考えを表現する	○新しく知ったことや考えたことを付け加えたり、不要な情報を削ったりして、分かりやすい表現に直す。	1-2	【メモ】	
		○情報の軽重を判断し、色や印を使って可視化する。	4-5	【付箋】	【メモ・付箋機能】
			4-5	【ノート、ワークシート】	【画像や動画のキャプション】
			2-3	【ホワイトボード】	
			2-3	【図・表・思考ツール】	
(橋渡し学習)	E 学んだことを振り返る	○多様な考えや情報を比較したり、関連付けたりして、自分の考えを整理し、表現する。	3-4	【線でつなぐ】	
		○学習活動の達成感だけでなく、学んだことや考えたことも記録に残す。	2-4	【図・表・思考ツール】	【メモ・付箋機能】
		○新たに学んだことや考えたことを、次に向けての目標を書き留める。	3-5	【メモ】	【画像、動画】
		○自分の振り返りを共有し、自分の学習に生かす。	4-5	【付箋】	【学習支援クラウドアプリ】
			4-5	【ノート、ワークシート】	

17

国語科、そしてすべての教科等において「徳島版読解力」の育成を目指しましょう！



すべての教科等に関する「徳島版読解力」を生かした学力向上のポイント

「徳島版読解力」の育成をめざして

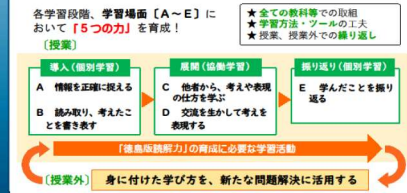
多様な複雑な現代の社会を生き抜いていく児童生徒には、様々な形式で伝えられる情報を読み取る力や、自分の考えを形成するために必要な情報を取捨選択し、選り取った情報を解釈したり活用したりする力が必要であると考えられる。このようなこれからの社会を生き抜くために必要となる力を徳島版読解力と定義し、すべての教科等においてその育成を図る。

「徳島版読解力」を構成する「5つの力」

- 1 正確に読む力**
多様なメディアが発信する文章などから、読み違い、読み飛ばし、思い込み等を見せずに情報を読み取る力
- 2 必要な情報を取り出す力**
読み取った情報から、目的や意図に応じて、必要な情報を選び出す力
- 3 比較・関連付けて理解する力**
取り出した情報を比較したり、相互の関係性を見出したりしながら、共感的、批判的な視点で情報の価値を見える力
- 4 発話する力**
取り出した情報が、問題を解決するために適切かどうかを点検する力
- 5 発信する力**
取り出した情報を基に、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、表現方法を選んで発信したり交流したりする力



「徳島版読解力」を育成する学習のイメージ



徳島県教育委員会

18